

日々の田高（令和7年度 芸術鑑賞教室）

7/17（木）、川崎市幸市民館にて本校の芸術鑑賞教室が開催され、全校生徒で東京演劇集団「風」公演の「Touch ～孤独から愛へ」を鑑賞しました。

今回鑑賞した「Touch ～孤独から愛へ」は、孤児の兄弟トリートとフィリップが、後に父親のような存在となるハロルドの愛情に触れてそれぞれ成長していく物語です。なんと、劇中に登場する役者はたったの3人しかいません。舞台を大きく使い、感情表現豊かな動きが次々と繰り広げられ、3人だけとは思えないほど見ごたえのある演劇でした。

生徒からは、「自分も誰かに寄り添える存在でありたいと思った」「人とのつながりの大切さを感じた」など、多くの感動の声が聞かれました。目の前で繰り広げられる舞台の迫力や、登場人物の心の動きに触れた時間は、生徒たちの心に深く残ったことでしょう。

また、終演後には舞台上がって、実際に劇中で使用された道具や装置、照明機材などを間近で見ることができるステージ見学会が開かれました。生徒たちは、舞台の裏側にある工夫やスタッフの支えを知ること、演劇の世界への理解をより一層深めていました。

さらに、希望者は座談会にも参加し、作品に込めた思いや、演じることの意味、舞台を作り上げるまでの苦労や喜びについて直接お話しを伺うことができました。

今回の経験を通して育まれた感性や想像力が、将来それぞれ歩いていく道の中で、他者を思いやる力や、自分の思いを表現する力として生かされていくことを期待しています。



公演前の様子



ステージ見学会の様子



座談会の様子